

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-2-246
補助事業名 平成23年度 機器の整備補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 田村やまびこ会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

職人にしか出来得なかった製麺作業に利用者が参画しさらに利用者中心の製麺作業をすることにより就労意欲の向上とスキルアップを図る。

製造量の拡大、質の向上により付加価値商品の開発、取引先の拡充を図り売上利益アップし利用者の工賃アップに繋げる。

(2) 実施の内容

自動製麺機「うどんロボ讃岐職人」の導入



* 職人しか立ち入れない製麺の作業に利用者の参画が可能になる。麺の様子がスケルトンで分かりやすいため、できあがっていく様子が利用者にも分かりやすい。切れた麺が出てくる様子を確認する利用者。



* 製造量の大幅アップが見込める。

今まで、製造工程上で手間がかかっていた部分を大幅に短縮でき、連続して製麺することが可能となっているため、製造量の上限が2倍から3倍近くになる。

* 従来賞味期限が冷蔵保存で製造日から7日が限度から、常温で2か月間に延長できる。進物商品もバラエティーに富んだものにしていく。



生麺のセット商品



2人前用の個包装商品



冷凍麺とダシセット

2. 予想される事業実施効果

利用者主体の作業に変化し、安全・安心の作業シフトが組め、就労意欲向上やスキルアップが図れる

製造量が増えるとともに付加価値商品の開発に取り組める為売上アップによる工賃向上が図れる

売上及び工賃目標(一部実績)

	うどん事業売上	利用者工賃
平成 22 年度	10,800 千円	32,400 円
平成 23 年度	11,160 千円	35,000 円
平成 24 年度	12,500 千円	37,000 円
平成 25 年度	15,000 千円	40,000 円

3. 本事業により作成した成果物等



タッチパネルにより、利用者が番号を押して麺の種類などを選択することもできるようになった。

視覚的に理解し覚えることができることも、知的障害を持つ人の働き方に合っている
自動製麺機導入

うどんの製麺生地をセットすれば、足踏み・手打ち・包丁キリまでの工程を自動でこなす。



自動製麺機 「讃岐職人」

設置場所

社会福祉法人 田村やまびこ会 D○やまびこ
香川県高松市田村町 1010 番地

4、事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 田村やまびこ会（タムラヤマビコカイ）
住所： 761-8057 香川県高松市田村町 1010 番地
代表者： 理事長 中田 耕次（ナカタ コウジ）
担当部署： 社会福祉法人田村やまびこ会D○やまびこ（ドウ ヤマビコ）
担当者名： 管理者 十河 清文（ソゴウ キヨフミ）
電話番号： 087-868-6971
F A X： 087-868-6972
Eメール： do-yamabiko@adagio.ocn.ne.jp
[URL:http://blog.canpan.info/do-yamabiko/](http://blog.canpan.info/do-yamabiko/)

